横浜市立鴨志田緑小学校

学校 HP 更新中　鴨志田緑小学校　検索

学校だより　３月号

令和６年２月２９日発行

ふるさとに学び　ふるさとで遊び　ふるさとを愛する鴨志田緑の子　～ふれあい　かがやき　豊かな心～

「不易」と「流行」

校長　　杉山　波也

職員玄関前の梅が例年より早く花咲きました。薄いピンク色の花びらが青空に映え、眺めているだけで心を和ませてくれます。１年生の植木鉢からはチューリップの芽が顔を出し、日に日に成長しています。

今年度もあと１か月となりました。コロナ禍のときは教育現場においても様々な制約が続いた毎日でしたが、今年度を振り返ると、５月に新型コロナウイルス感染症の法上の位置づけが５類に引き下げられてから、子どもも教職員もやりたかったことが少しずつできるようになってきた１年だったと思います。給食中に会話すること、出会ったときにハイタッチをすること、活動の中で手をつなぐこと、全校児童が体育館で集会を楽しむことなど、様々なことを行うことができました。また、５年生のスポーツ交流会や４・５組のブロック学習発表会など、学校の枠を超えて近隣の小学校との交流も実施することができました。以前、当たり前にできたことを、今また同じようにできることのありがたさ・喜びを感じることができた１年でした。しかし、ここ数年で私たちを取り巻く社会状況は大きく変化し、コロナ禍はより一層、持続可能な社会、多様性の尊重、デジタルコミュニケーション、働き方改革など、時代の変化を乗り越えるための様々な生き方・考え方を示しました。学校も変化の激しい時代に対応していくために、慣習にとらわれず様々な新しい取組を行っていくことや、子どもの実態に応じて活動の見直しを図っていくことなどの必要性が求められています。

松尾芭蕉の俳諧に「不易流行」という言葉があります。「不易」とは、「いつまでも変わらないこと」、「流行」とは、「時代の変化とともに変わっていくこと」を意味します。合わせて「不易流行」とは、「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものも取り入れていくこと」という意味になります。学校での「不易」は、学力を身につけること、探求し続ける力を身につけること、豊かな心を育てること、協働する力を育てることなど、子どもが身につけるべき資質・能力のことだと私は考えます。「流行」は、時代の変化を見据えながら、これらの力を育むための手立てを考え取り組んでいくことだと思います。先行き不透明な未来を、子どもたちが自分の力で切り開いていく「生きる力」を、その時に合った方法で育んでいけたらと思います。引き続き子どもたちのよりよい成長のために、保護者・地域の皆様と手を携えて教育活動を行っていけたら幸いです。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。